「『またかな』学校上映プロジェクト」完了　ご報告

クラウドファンディングによる「『またかな』学校上映プロジェクト」へご賛同・応援頂き、ありがとうございました。
無事に全国の学生へ「またかな」をバリアフリー上映で届けることが出来ました。
学校上映プロジェクト完了までの活動について、ご報告をさせて頂きます。

◎クラウドファンディング（CF）ご支援

支援募集期間：2015 年 3 月 30 日～5 月 29 日
目標額：　　60万円
結果(目標達成率)：116万円(193%)
※ご支援者：120 名（個人 118・団体 2）

●クラウドファンディングによるこの企画への支援金は、支援者へのリターン品費用・CF 手数料・上映ディスク発送費を除き、「またかな」製作委員会より、著作権者、権利会社へ契約に基づき配分されます。

◎上映実施

CF による決定上映枠数：39枠（校）
上映申込み受付期間：2015 年 3 月 20 日～2016 年 3 月 15 日
上映申込み数：46（内　CF上映実施権取得 6）
上映実施期間：2015 年 4 月 25 日～2016 年 3 月 28 日
上映学校：小学 1　中学 14　高校 13　専門学校 2　他(学校外)
上映実施回数：60 回（複数上映実施含む）
鑑賞者総数：約7,800 名

★ **クラウドファンディングサイト**★　https://www.makuake.com/project/matakana/

★貸出された上映ディスクの構成★

①[1 分 30 秒]映画予告編（日本語字幕付き）
②[30 秒]「『またかな』学校上映プロジェクト」ご支援者名
③[1 分 30 秒]原作・喜多川泰先生から学生へのメッセージ（日本語字幕付き）
④[40 秒]バリアフリー上映について（字幕・音声）
⑤[104 分]映画『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』本編（日本語字幕・音声ガイド付き）

https://youtu.be/35XMiqVmvT0

●以下、詳細報告（長文）となります。

【詳細報告】

◆クラウドファンディングで大成功 （上映校２倍に！）

“映画『またかな』をバリアフリー上映で全国の中高生へ届けたい！”と始まったクラウドファンディングによる「『またかな』学校上映プロジェクト」。

映画にご出演の佐野岳さんを始めイッセー尾形さん、杉田かおるさん、古厩智之監督、そして、原作・喜多川泰先生にご協力頂きまして、スタートすることが出来ました。

クラウドファンディングでの支援募集は 2 ヶ月の期間でしたが、賛同者から 116 万円ものご支援を賜り、目標の 193%達成という大変嬉しい結果でした。

実施される上映が39枠と目標が 2 倍に高まりました。

◆上映の実現へ

「またかな」公式サイト、Facebook、Twitter などの SNS 中心の告知で、受付を開始しました。

20 校ほどまでは順調な滑り出しでしたが、夏休みを前にぴたりとストップ。

喜多川泰先生がホームページで告知くださったり、イベントでチラシ配布や口コミ、SNSで広めてくださる方が現れるなど、たくさんの方々に応援して頂きました。

私も「またかな」関連イベントでの登壇や横浜のコミュニティ FM ラジオに出演するなど身体を張った PR を行いました。

そしてついに約束の39枠の受付を達成。

その後も、プラス α として受付を継続しました。

そして、最終的に46枠の申込みを頂くことが出来ました。

しかし、いくつかの学校が上映実施までには至りませんでした。

理由は、「なかなか学校のスケジュール調整ができず･･･」と言うものでした。

上映希望してくれた人は、学校の先生ばかりではありません。

保護者の方にも、子ども達へこの映画を届けたいとの想いで申込みされた方々がいらっしゃいました。

強い想いを持った学校内の先生であっても、上映実現は容易ではありません。

そんな状況なので、悩ましく悔しい想いをされた親御さんから連絡や手紙が届く事もありました。

時には、「残念ではありますが、上映を取りやめたいんです」「学校の状況が変わり、上映どころではなくなりました」との連絡も･･･。
しかし、お話をして行く中で、もう一度実現へチャレンジくださいました。
諦めない想いが届き、いずれも学校での映画鑑賞の実施へ繋がって行きました。

また、学校以外の場でも、無償上映で子ども達に映画「またかな」を届けてくれる条件で一部を許可。
これにより、多くの子ども達が家族などと一緒に鑑賞する機会が生まれました。
映画について、親子で話す貴重な時間が出来たとの感想も頂きました。

◆全国の学生へ届いた「またかな」

すべては叶いませんでしたが、21 都道府県での上映が実現しました。
因みに、最多上映県は兵庫県の5校。

中高生を中心として、山腹にある小・中学の複式校、定時制高等学校　、専門学校などへも届ける事が出来ました。
上映スタイルも様々で、生徒が中心となった文化祭、生徒会での企画や、「人権教育」、「全校道徳」、「ユニバーサルデザイン映画上映会」･･･。
「原作・喜多川泰先生講演」、教育委員会後援イベント「ロックバンドおかんライブ」、「高校生夢発表会」「お花見会」と同時開催されたものなど多様です。
学校外の会場を借り 750 名を超す大規模な無償上映会を企画くださったケースもありました。
学校以外の場であるからこそ実現できた親子や家族での映画鑑賞は、作品を通じて大切な時間を届けてくれたものと思います。

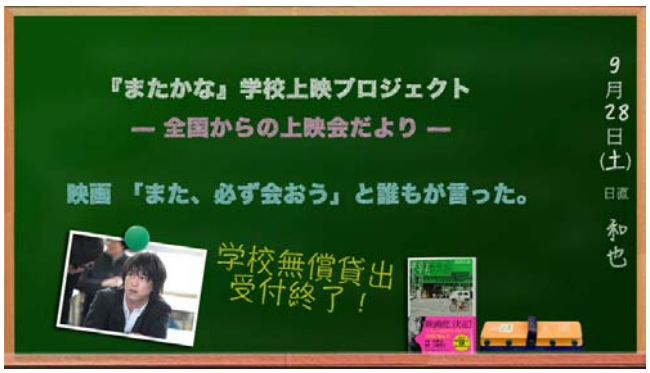
◆想いが詰まった感想

生徒の感想を読まれた先生から、「上映させて頂いて本当によかった」とのお礼の言葉が、この企画の成功を物語っています。
先生ばかりでなく親御さんからも、「感想文を読んだらとても嬉しくなりました。」とのお便りがありました。
上映を実現した申込者自身も、大きな喜びが得られる企画となりました。

先生も、親御さんも、生徒が書いた感想を読んだ時、涙が溢れるほどの想いになれたようでした。
生徒ばかりでなく、“教職員にも大好評”との手紙も頂きました。
ほとんどの生徒にとって初めての体験となったバリアフリー上映では、障害のある人も一緒に生きている事を感じ、自分にできること、これからして行きたいことを考えるきっかけとなりました。

たくさんの人たちの支援によって実現した上映への感謝を伝える言葉も多数寄せられました。

生徒たちの感想を是非お読みください。



「またかな」公式サイトの「—全国からの上映だより—」に掲載しています。

http://matakana.jp/CFReport.html

◆主演・佐野岳さんの近況

「下町ロケット」レギュラー出演で話題になりましたが、CMでもオータムジャンボ宝くじに続き、サントリー『ボス ラテミックス』、そして、「三菱 UFJ ニコス」への出演が決定しました。
ディズニー・チャンネル『世界のディズニーリゾートへ GO！』の新 MC にも起用されました。(5 月から)
先日、フランス・カンヌで開催された「MIPFORMAATS」での「TREASURE BOX JAPAN 2016」では、TBS は「Battle of the Super Boyz」(「究極の男は誰だ!?最強スポーツ男子頂上決戦」)を発表。
この番組で佐野岳さんは、2 度の優勝を果たしています。
番組フォーマットを海外へ紹介するイベントではありますが、
佐野岳さんが世界で注目される機会に繋がって欲しいものです。

◆企画を完了して

「またかな」では、高校生・和也を演じた佐野岳さん。

今では、“人気若手俳優”と形容されるまでになりました。

先日テレビ放送された『オールスター感謝祭』で、駅伝のアンカーやマラソンでハンデをものともせず全力疾走する姿は 感動さえありました。

ゴール後に倒れ込んだまま「役者としてこの番組出させて下さい」とインタビューに答えた魂の声。

俳優で生きていく強い意志が伝わって来ました。

佐野岳さんは、アクション俳優でハリウッド映画デビューする夢を抱いているのです。

その原点とも言える映画が、初主演の『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』。

諦めない強さやチャンスをものにして行く佐野岳さんにあやかって、私達も成功を掴みたいですね。

私自身も、この「『またかな』学校上映プロジェクト」を企画して本当によかったと感じています。

たくさんの若者それぞれの心に、何か大切なものを残せたと実感できる意味深い企画となりました。

このような機会に恵まれ、皆様からの温かいお力添えを頂きました事に深く感謝し、お礼申し上げます。

ありがとうございました。

企画プロデュース　川上孝裕

※いつでもどこでも、「またかな」が楽しめるように、各ビデオ・オン・デマンド(VOD)サイトで動画配信中！　http://matakana.jp/